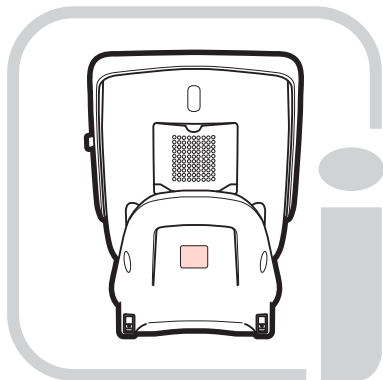




ターンレジェネクト/ミッキーマウス
Turn Leger Next / Mickey Mouse



企画・販売元 株式会社シーエー産商

お客様相談窓口

0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00(月曜日~金曜日 ※弊社休日を除く)
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

本製品は、ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)との契約により、
(株)シーエー産商が企画・販売するものです。



© DISNEY
DS2001・DS2002・2024-03



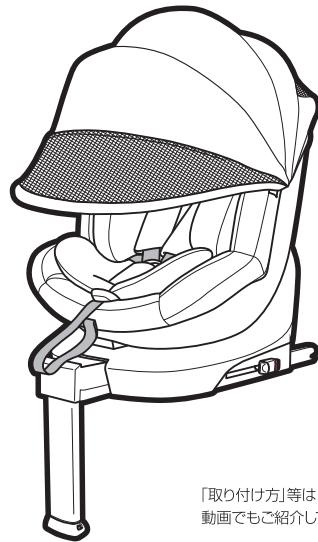
ターンレジェネクト/ミッキーマウス
Turn Leger Next / Mickey Mouse

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、
十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しく取り付けて
ご使用ください。



R129/03



「取り付け方」等は
動画でもご紹介しています。



本装置は、身長**40~105cm**までのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

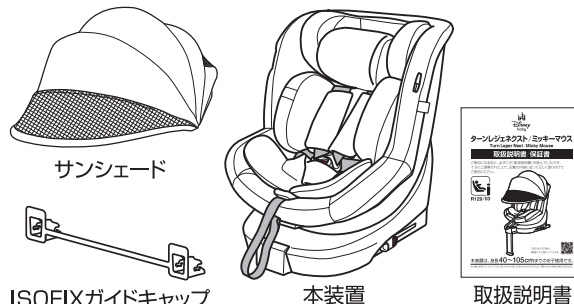
目次

■ご使用になる前に	
梱包内容／ご利用にあたって	2
本装置について	3
■各部の名称	4
■本装置の使い方	7
■取り付けできる座席	9
取り付けできない座席	10
■安全にご使用いただくために	11
■各部の使い方	
回転レバー	15
リクライニングレバー	17
バックル・タンク	18
肩ベルト	19
ヘッドサポート	20
サポートレッグ	21
ISOFIXコネクタ	23
ISOFIXガイドキャップ	24
インナークッション	25
サンシェード	26
■取り付ける前に	27
■本装置の取り付け方	28
■お子様を乗せる前に	31
■お子様の乗せ方	32
お子様の降ろし方	34
■本装置の取り外し方	35
■カバー類の取り外し方	36
■カバー類の取り付け方	38
■お手入れ	
カバー・パッド・クッション／本体・ベルト等	41
■困ったときは	43
■保証規定	45
■保証書	46

ご使用になる前に

【梱包内容】

ご使用になる前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



〈サイズ〉 W440×D530×H590～640mm

〈重量〉 11kg(サンシェード除く)

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき、本装置をご使用ください。



警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。



注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)^{※1}に適合しており、身長が40～105cmまでのお子様を対象とした、R129(i- Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

※1 UN ECE R129/03は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

- 新基準UN ECE R129/03の詳細については、弊社ホームページ(QRコード→)をご覧ください。



本装置は、身長が40～105cm(新生児～4歳頃)までご使用いただけます。生後15ヵ月までは、必ず後ろ向きでご使用ください。ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグが接地できれば、本装置は取り付けできますが、ISOFIX取付金具が装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

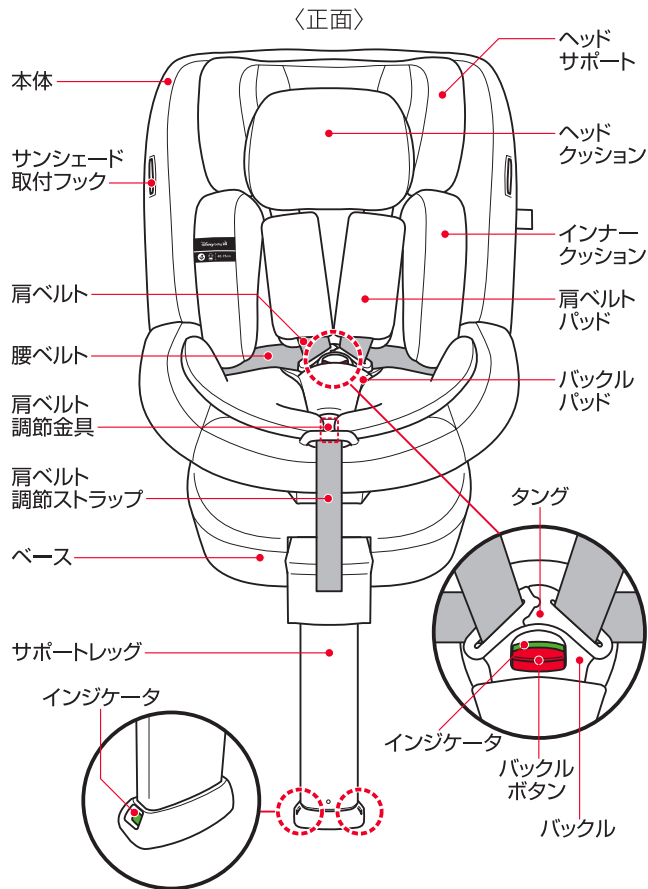
- 車両の『取扱説明書』において「i-Size」表示マークがなくても、取り付け可能な場合がありますので、『車種別適合表』を参照してください。

〈中古品のご使用について〉

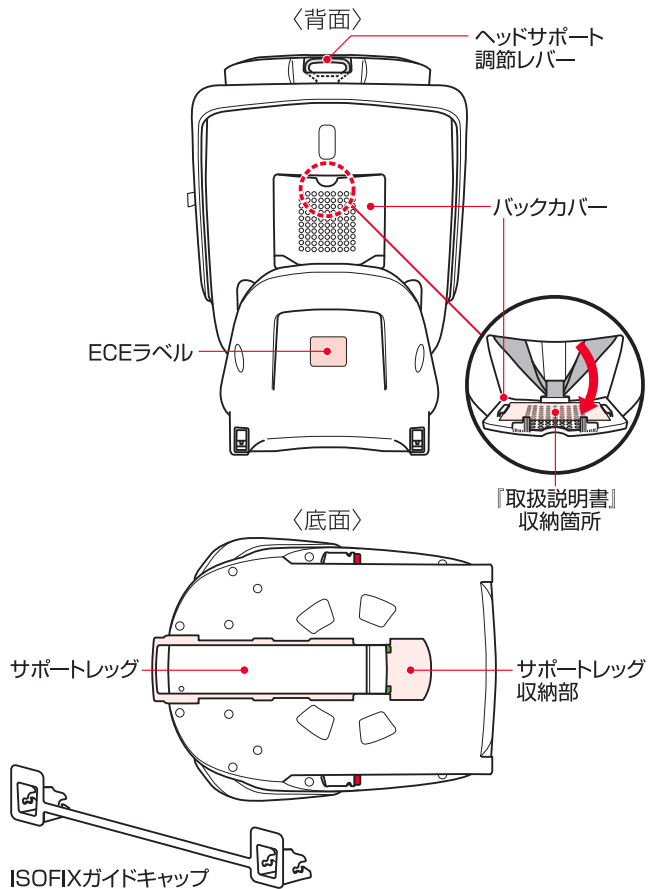
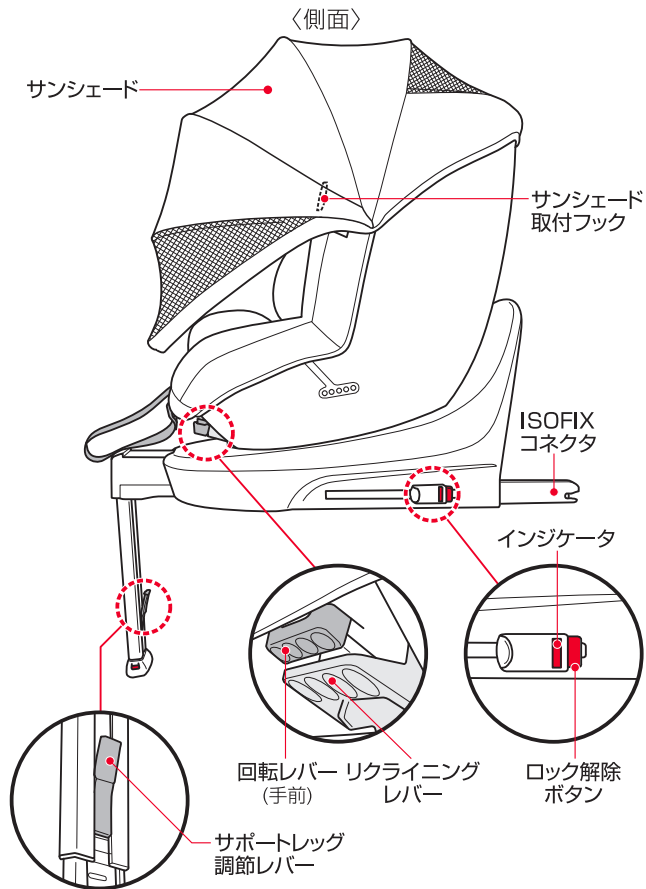
前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により本体に外部から強い衝撃を受けたおそれがありますので、決して使用しないでください。

ご不明な点は、お買い求めになった販売店、または弊社「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

各部の名称



各部の名称



本装置の使い方

※体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

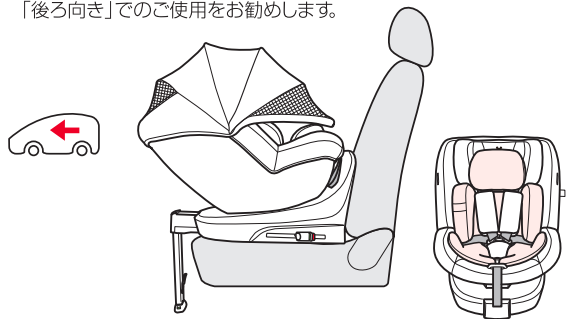
後ろ向き

身長 40～105cm

- 年齢の目安… 新生児～4歳頃
- 体重の目安… 約2.5～18kg

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず**後ろ向き**で使用。

※身長が76cmを超えても、できる限り「後ろ向き」でのご使用をお勧めします。



ISOFIXコネクタとサポートレッグで取り付け、本装置の**肩・腰ベルト、バックル**でお子様を拘束します。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。
また、助手席には絶対に使用しないでください。

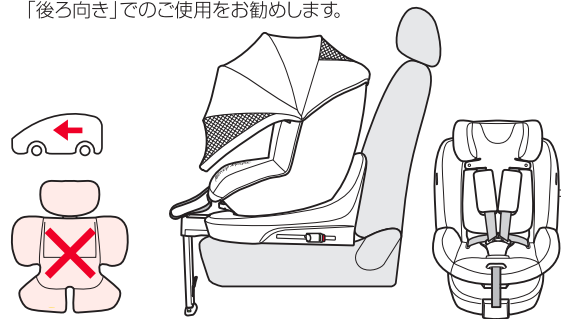
前向き

身長 76～105cm

- 年齢の目安… 15ヵ月～4歳頃
- 体重の目安… 約9～18kg

身長76cm以上では、**インナークッション**を取り外して**前向き**で使用。

※身長が76cmを超えても、できる限り「後ろ向き」でのご使用をお勧めします。



ISOFIXコネクタとサポートレッグで取り付け、本装置の**肩・腰ベルト、バックル**でお子様を拘束します。

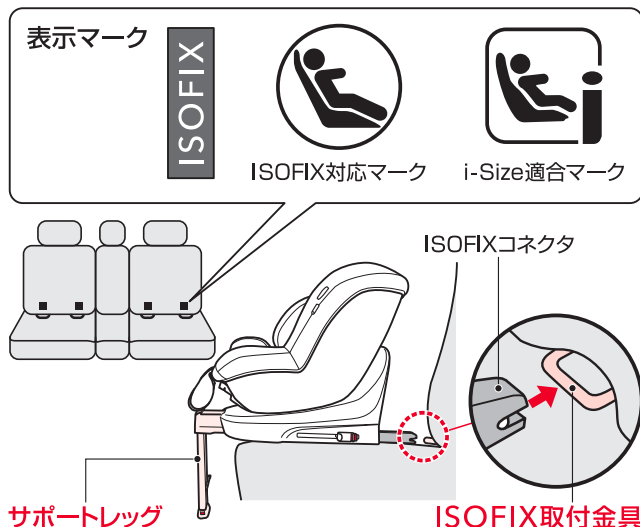


上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。
また、助手席には絶対に使用しないでください。

取り付けできる座席

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグが接地できる座席。車両の『取扱説明書』にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記の表示マークがある座席。

※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の『取扱説明書』をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。



前方衝突時に、本装置が衝撃により、前方に倒れ込むのを防ぐためのものです。お子様の頭部移動量が少なくなり、その分衝撃を抑えられます。

補足

ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

本装置のISOFIXサイズ等級は下記になります。車両の『取扱説明書』または車両をご購入された販売店に対処状況をご確認ください。

● 後ろ向きで使用

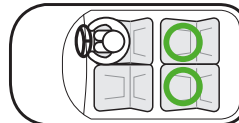
サイズ等級	D
固定具	ISO/R2

● 前向きで使用

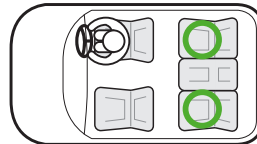
サイズ等級	B1	
固定具	ISO/F2X	ISO/B2

● 本装置を取り付けできる車種

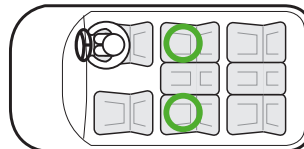
〈軽乗用車〉



〈普通乗用車・SUV〉



〈ミニバン〉



● 座席に「表示マーク (P9参照)」があれば取り付けることができます。

● その他の車種については車両の『取扱説明書』をご確認ください。

※ひじ掛け固定式(キャプテンシート等)の座席に取り付ける際は、取り付け前にはあらかじめご使用される方向(前向き・後ろ向き)を決めてから取り付けてください。取り付けてから、本装置を回転させることができません。

安全のため、後席に取り付けることをお勧めします。

取り付けできない座席

ISOFIX取付金具が装備されていない座席。サポートレッグが接地しない座席。

安全にご使用いただくために

警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず後ろ向きで使用してください。

●本装置は「取扱説明書」通りに取り付けてください。

●エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。

※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できません。



●本装置のバックルを外した状態での使用は危険です。必ずタンクをバックルにセットしてご使用ください。

●本装置の肩ベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。肩ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがあります。必ず正しい位置に調節してご使用ください。

●本装置を取り付けた後に、座席のリクライニングをされた場合は、再度取り付けの緩み等がないか確認をしてください。

●お子様を乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。

●サポートレッグを収納した状態で絶対に使用しないでください。衝突時に機能が発揮できません。必ずサポートレッグを底面から引き起こし、高さを調節してからご使用ください。



●バックルボタンの強さは安全規格上強めに設定されていますが、お子様の力でもタンクが外れる場合があります。タンクがバックルに確実にロックされているか必ず確認をしていただき、お子様にはバックルボタンを押さないようにお伝えください。

●お子様の負担を考えて、1時間以上連続して使用しないでください。

●お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



●取り付け・取り外しの際は、本装置の可動部やISOFIX・金属部に手や指等を入れたり、挟まないように十分注意しておこなってください。

●走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は危険ですので絶対にしないでください。

●拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。

●回転・リクライニングのロックが確実にされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

●車両のシートベルトや本装置の肩・腰ベルト、バックルベルトに損傷・

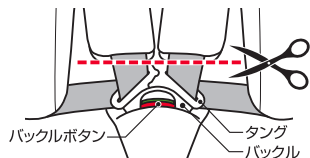
亀裂がある場合、衝突時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。

●落下や衝突等により本装置が衝撃を受けた場合は、外見に異常がなくても破損のおそれがありますので使用しないでください。

●緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください(例：片側スライドドアのドア側座席など)。

●車両の座席シートの材質・形状によって、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートの間に、保護マット等を敷いてご使用ください。

●緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タンクがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。

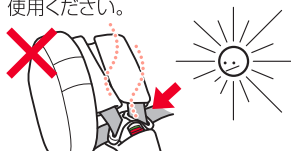


安全にご使用いただくために

⚠️ 注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

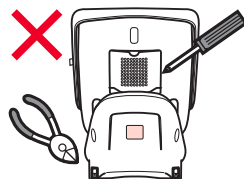
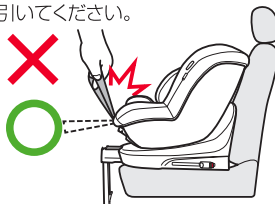
- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行前に本装置が確実に固定されているか、必ず確認をしてからご使用ください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったたり、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置を取り付ける際、手や指を車両の座席やドアに挟まないように注意してください。
- 本装置をシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けしないでください。
- 炎天下での駐車時には、金属部分や樹脂部分などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際には、各部に触れて、熱くなっていないかを確認した上でご使用ください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は故障の原因になる場合があります。「お客様相談窓口」までご連絡ください。
- ホコリの多い場所で本装置を放置したり使用すると、ISOFIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様と同乗者がケガをするおそれがあります。



- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のためタンクをバックルにセットし、必ずISOFIXコネクタで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- 極端な厚着や防寒具の上から本装置の肩・腰ベルトを装着すると、肩・腰ベルトが緩むおそれがあります。お子様の寒さ対策は、肩・腰ベルトを装着した上からおこなってください。



- 肩ベルト調節ストラップを上につ引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、手前に引いてください。
- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損傷する原因になる場合があります。
- 定期的にも本装置に異常がないか、確認をしてください。
- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。
- サポートレッグが接地するフロア面が、水平であることを確認してください。水平でない場合、安定しないことがあります。他の座席でご使用ください。
- 本装置に重いものを載せないでください。



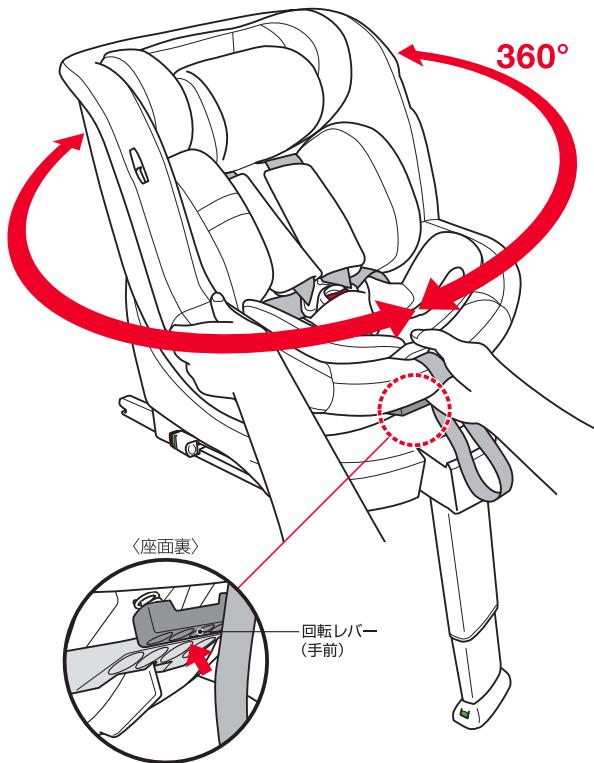
各部の使い方

動画



回転レバー

座面裏側にある回転レバーを押し上げ、本体を左右どちら側からでも360°回転させることができます。



回転レバーを押し上げ、回転し始めたら回転レバーから手を離し、本体が「後ろ向き」または「前向き」になると「カチッ」と音がして、本体がロックされます。

「横向き(90°)」でも本体は止まりませんが(ロックはしません)、お子様を乗せ降ろする時のみに、ご使用ください。



横向きでは絶対に走行しないでください。



本体を横向きにしたままで、絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。

走行する前に、必ず本体がロックされて回転しないことを確認してください。確実にロックされていない状態では決して使用しないでください。

後ろ向き



前向き



横向き



回転させる時に、手や指などを挟まないように、十分注意してください。走行中に回転操作はしないでください。

補足

回転時に、本体が車両のドアトリムや座席の背もたれに干渉する場合は、リクライニング角度を調節してください。(P17参照)

各部の使い方

リクライニングレバー

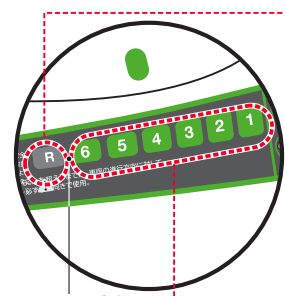
座面裏側にあるリクライニングレバーを下から押し上げ、本体を前後にスライドさせてリクライニング角度(前向き:1~6/後ろ向き:R)を調節できます。

※リクライニングレバーを押すと、リクライニングと回転が同時に調節できる状態になります。

リクライニングレバーから手を離すと、本体はロックされます。



後ろ向き

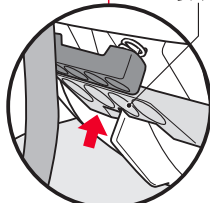


リクライニングガイドマーク

前向き



リクライニングレバー



(座面裏)



警告

本体を揺すって、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。



注意

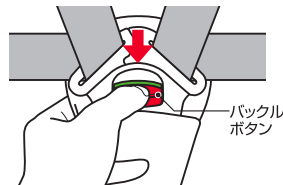
リクライニングさせる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。

走行中でのリクライニング操作は絶対にしないでください。

バックル・タング

ロック解除の場合

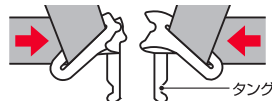
バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングはバックルから解放されます。



バックルボタン

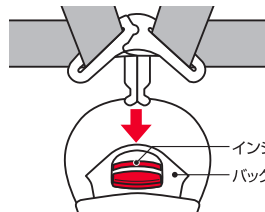
ロックする場合

左右のタングを合わせます。

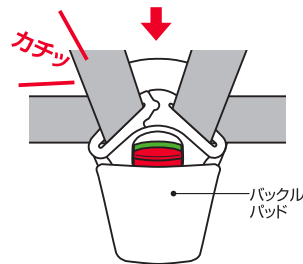


タング

タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。ロックすると、インジケータが赤色から緑色に変わります。



インジケータ
バックル



バックルパッド



警告

バックルにタングをセットした際、「カチッ」と音かして、インジケータが緑色になっていることを確認してください。緑色にならない場合は使用を中止し、「お客様相談窓口」へご相談ください。



注意

バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。

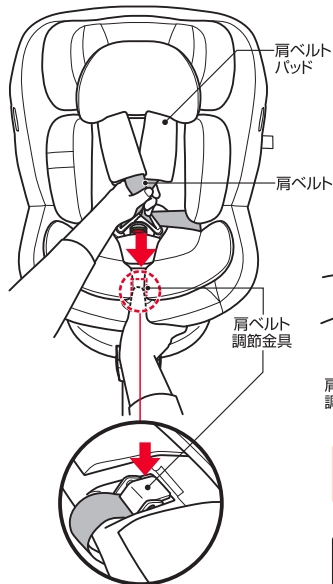
各部の使い方

肩ベルト

肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具を押し込みながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパッドの下）を持って手前に引っ張ります。

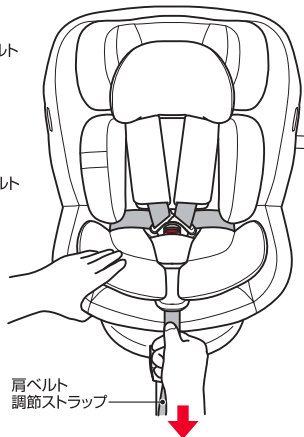
※肩ベルトパッドを持って引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくりと引っ張ります。



注意 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。

補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。



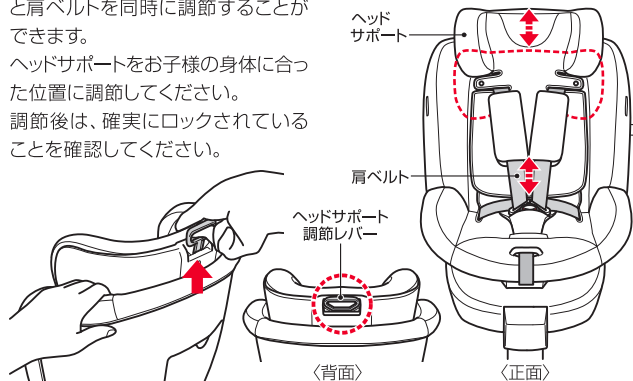
ヘッドサポート

ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

肩ベルトを緩め、ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポートと肩ベルトを同時に調節することができます。

ヘッドサポートをお子様の身体に合った位置に調節してください。調節後は、確実にロックされていることを確認してください。

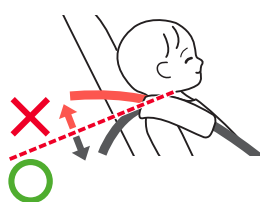
補足 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節をしてください。



肩ベルト位置の目安

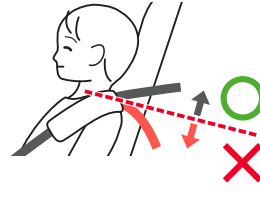
後ろ向き使用時

お子様の肩と同じ高さか、やや低い位置になるように調節してください。



前向き使用時

お子様の肩と同じ高さか、やや高い位置になるように調節してください。



各部の使い方

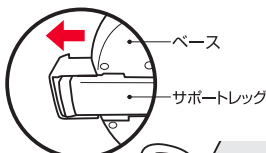
サポートレグ

設置のしかた

1

本装置を横に寝かせます。

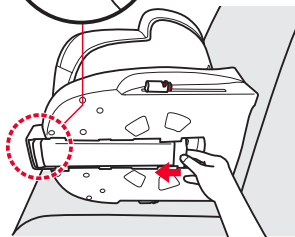
※あらかじめ寝かせるスペースを確保してください。



2

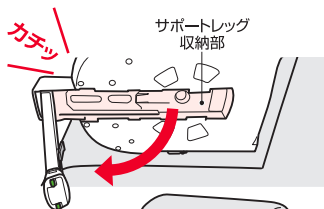
サポートレグの底部を、ベースの前方へ止まるまで押し出します。

※本体側に押さえ付けると、引き出すことができません。



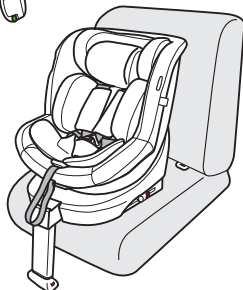
3

前方に出したサポートレグを、サポートレグ収納部から「カチッ」と音がするまで、起こしてください。



4

本装置を寝かせた状態から起こします。



警告 車両の座席シートの材質・形状によっては、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートとの間に、保護マット等を敷いてご使用ください。



注意 引き出し・収納する際に、ベースと収納部の隙間に手や指を挟まないように注意してください。

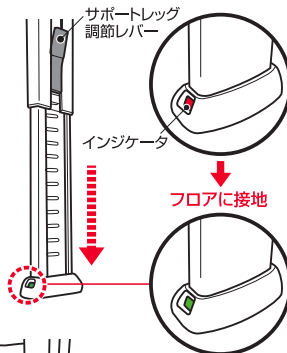
5

サポートレグ調節レバーを押すとロックが解除され、サポートレグが下がります。

車両のフロアにしっかり接地するとインジケータが緑色に変わります。

補足

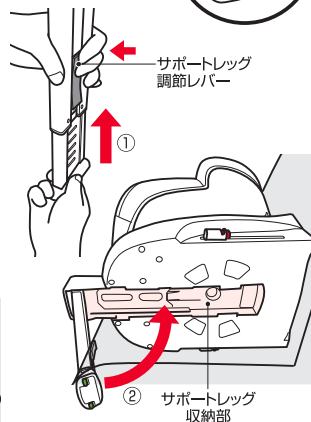
ISOFIXコネクタを取り付けてからサポートレグの高さを調節してください。



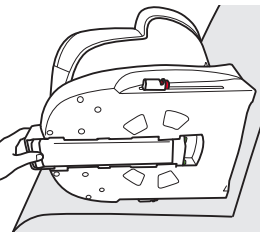
収納のしかた

サポートレグ調節レバーを押してロックを解除します。

- ①サポートレグを最も短くします。
- ②本装置を横に寝かせ、サポートレグ収納部側に倒します。
- ③ベース側に押し込んで収納します。



③



警告 フロアに接地しない状態でサポートレグを収納した状態で、決して使用しないでください。

各部の使い方

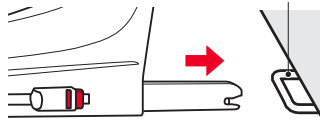
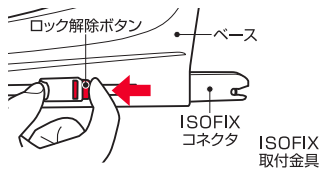
ISOFIXコネクタ

ロックする

1

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。

ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタがロックされ、戻らなくなります。



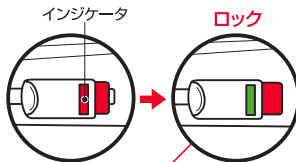
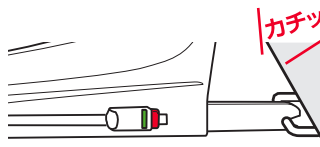
2

ISOFIXコネクタの先端の凹部を座席側のISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

ロックするとインジケータが赤色から緑色に変わります。

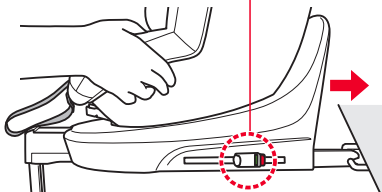
補足

インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。



3

左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認できたら、座席側にゆくりと押し込んでください。



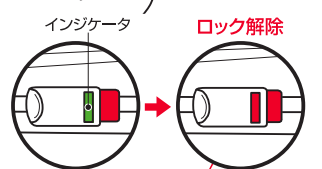
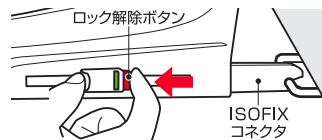
ロックを解除する

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。ロックが解除されるとインジケータが緑色から赤色に変わります。

補足

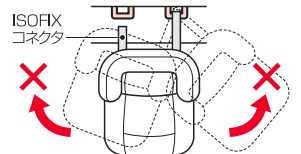
ロックを解除する際は、ロック解除ボタンを左右同時に押ししてください。

ロックが解除されたら、ISOFIXコネクタを引き戻してベースに収納してください。



注意

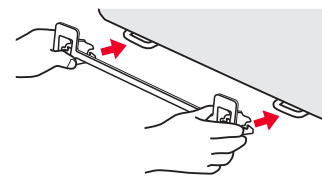
取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり、上下左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



ISOFIXガイドキャップ

ISOFIX取付金具が座席の奥で見えない、ISOFIXコネクタが差し込みにくい場合にご使用ください。

※ISOFIX取付金具の位置が浅い場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。また、すでにキャップの付いた車両には必要ありません。



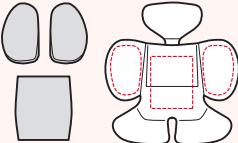
各部の使い方

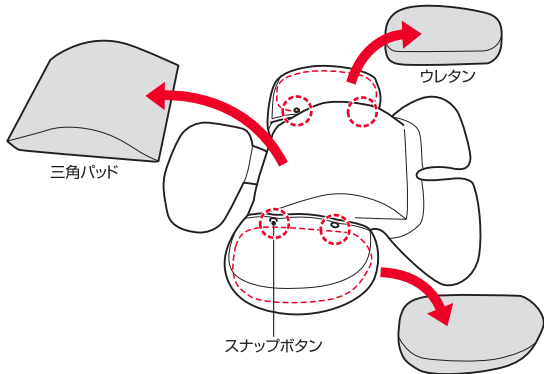
インナークッション

身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。

インナークッションを取り外してもよい条件は76cm以上(15ヵ月頃)で、腰と首がすわっていることです。

身長が60cm以上のお子様は、体格、着衣により窮屈な状態でしたら、ウレタンや三角パッドを取り外して調節してください。

身長 40cm~	60cm~	76cm~
必ず使用する	 <p>※お子様の成長に合わせて、ウレタンや三角パッドを取り外してご使用ください。</p>	使用しない ×

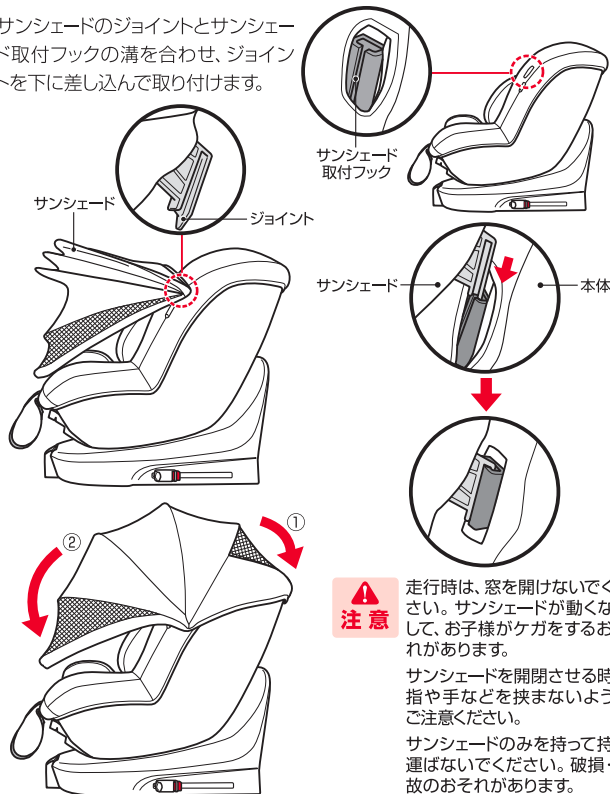


サンシェード

〈ご使用の目安〉

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

サンシェードのジョイントとサンシェード取付フックの溝を合わせ、ジョイントを下に差し込んで取り付けます。



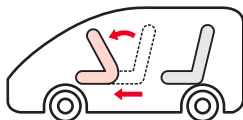
取り付ける前に

作業スペースの確保

後部ドアが全開可能な平坦な場所で取り付けをしてください。



前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。

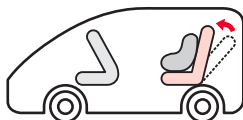


本装置を取り付ける座席が前後に調節できる場合は、座席をいちばん後ろに下げてください。

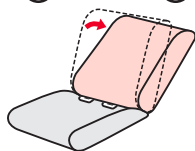


座席の準備

後部座席の背もたれがリクライニングできる場合は、本装置と背もたれとの隙間ができるだけ少なくなるように、調節してください。



背もたれがリクライニングできる座席で、ISOFIX金具が見にくい場合は、背もたれを倒してISOFIXコネクタを取り付けてください。



ISOFIX金具の周辺に障害物がないか、車両のシートベルトが挟まっていないかなどを、確認してから取り付けてください。

本装置の取り付け方



1

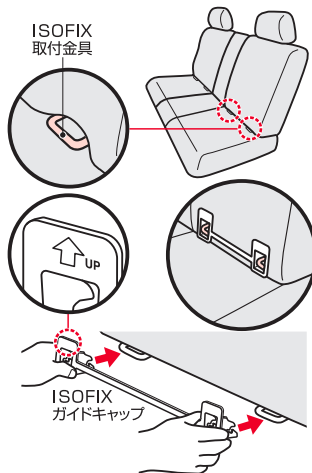
ISOFIX取付金具の位置を確認してください。

補足

ISOFIX取付金具は、一般的に背もたれと座席の間に装備されています。

ISOFIX取付金具が座席に隠れて見にくい場合は、付属のISOFIXガイドキャップを使用すると取り付けがしやすくなります。その際、上下の向きに注意して取り付けてください。

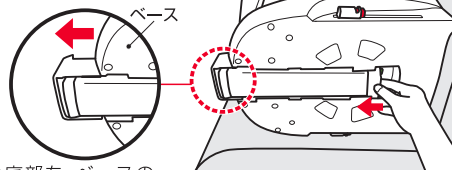
※ISOFIXガイドキャップは、ISOFIX取付金具の位置が浅い場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。また、すでにキャップの付いた車両には必要ありません。



2

本装置を横に寝かせます。

※あらかじめ寝かせるスペースを確保してください。



3

サポートレッグの底部を、ベースの前方へ止まるまで押します。

※本体側に押さえ付けると、引き出すことができません。

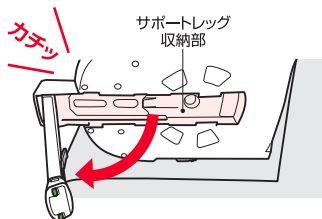


車両の座席シートの材質・形状によっては、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートの間に、保護マット等を敷いてご使用ください。

本装置の取り付け方

4

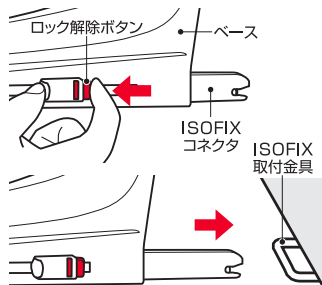
前方に出したサポートレグを、サポートレグ収納部から「カチッ」と音がするまで、引き起こしてください。本装置を寝かせた状態から起こします。



5

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。

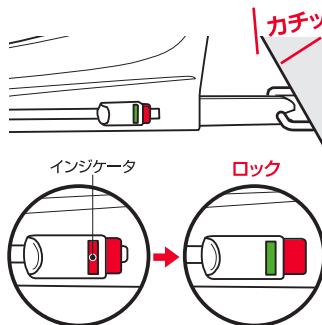
ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタがロックされ、戻らなくなります。



6

ISOFIXコネクタの先端の凹部を座席側のISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

ロックするとインジケータが赤色から緑色に変わります。



補足

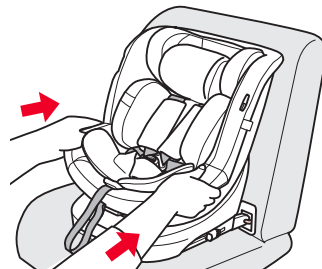
インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。

7

左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認してから、座席にゆっくり押し込んでください。

補足

座席の形状により、ISOFIX取付金具にISOFIXコネクタが届かない場合は、座席の背もたれを倒して取り付け、取り付け後に背もたれを起こしてください。



8

サポートレグ調節レバーを押すとロックが解除され、サポートレグが下がります。

車両のフロアにしっかり接地するとインジケータが赤色から緑色に変わります。



警告

サポートレグが車両のフロアに接地していない状態で、絶対に使用しないでください。



注意

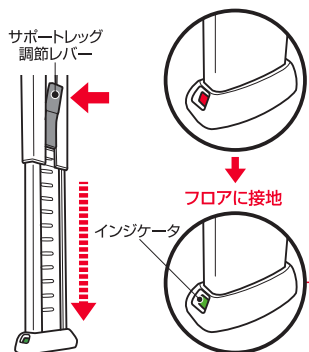
ISOFIXコネクタの可動部に指を入れないように、取り付けてください。



補足

後ろ向きでご使用される場合でも、前向きで取り付けしてから後ろ向きに回転(P15-P16参照)させてセットしてください。

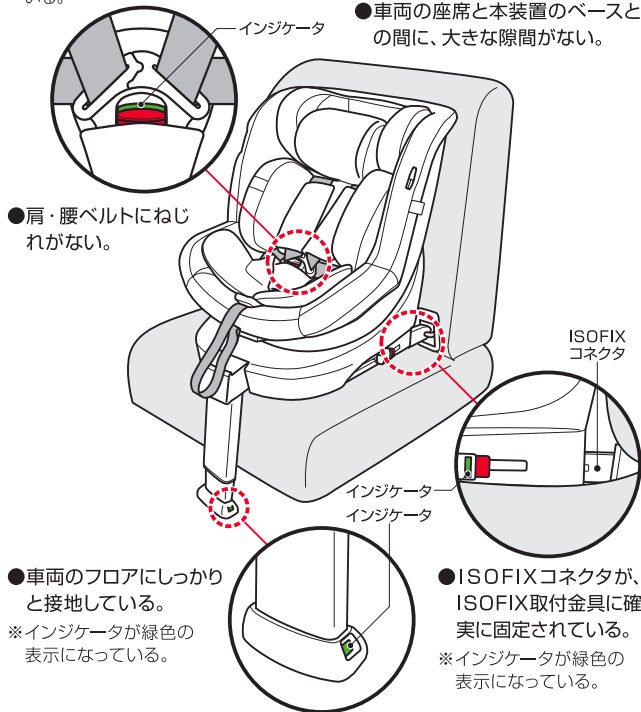
※ひじ掛け固定式(キャブテンシート等)座席は、取り付けから回転できないので、あらかじめ使用する向きにセットしてください。



お子様を乗せる前に

車両に確実に取り付けられているか、必ず確認をしてください。

- タングがバックルに、確実に固定されている。
※インジケータが緑色の表示になっている。
- 本装置を前後に軽く揺すり、ぐらつきがなく安定している。
※左右のぐらつきは問題ありません。
- 車両の座席と本装置のベースとの間に、大きな隙間がない。



● 肩・腰ベルトにねじれがない。

● 車両のフロアにしっかりと接地している。

※インジケータが緑色の表示になっている。

● ISOFIXコネクタが、ISOFIX取付金具に確実に固定されている。

※インジケータが緑色の表示になっている。

お子様の乗せ方

1

お子様を乗せやすい位置に本体を回転させます。(P15・P16参照)

2

本体カバーの切り込み口から指を入れ、肩ベルト調節金具を押し込みながら、左右の肩ベルトを持って、手前に引っ張って肩ベルトを緩めます。

※肩ベルトパッドの位置を調節することはできません。

肩ベルトの長さを調節する際は、肩ベルトパッドを持たないでください。

3

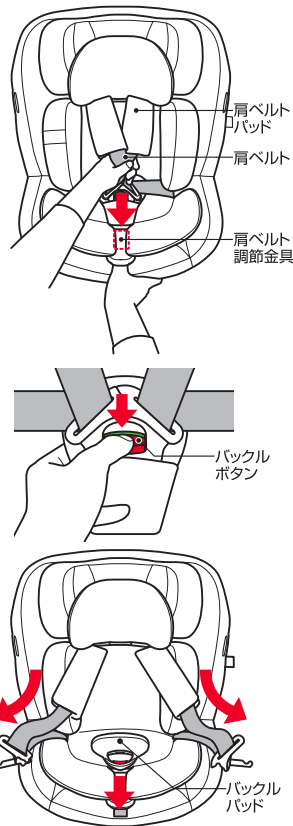
バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タンクはバックルから解除されます。

4

肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。

注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。



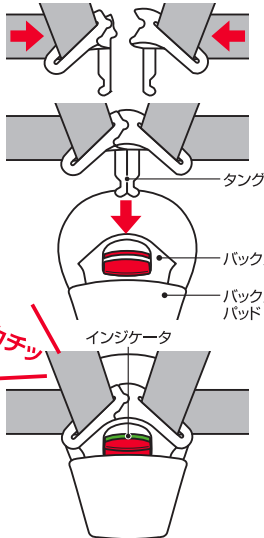
お子様の乗せ方

5

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、肩ベルトの下にお子様の両腕を通します。

バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせます。

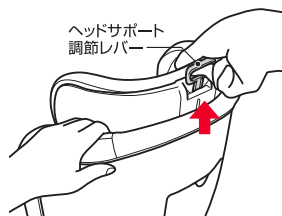
タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。ロックするとインジケータが、赤色から緑色に変わります。バックルパッドを引き上げます。



6

肩ベルトの高さを確認して、位置が合っていない場合は、ヘッドサポートの高さを調節してください。

(P20参照)



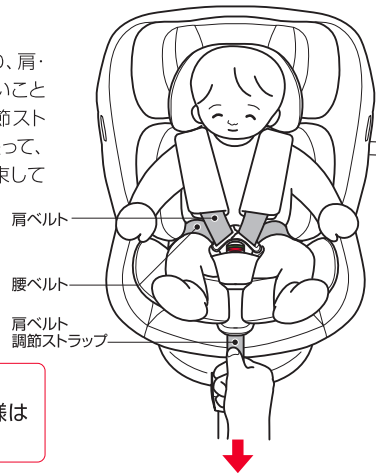
バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたと、確実に固定されていることをご確認ください。

補足

ヘッドサポートの高さは、肩ベルトを緩めてから調節してください。

7

肩ベルトがお子様の肩にかかり、肩・腰ベルトに緩みやねじれがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束してください。



月齢15ヵ月かつ
身長76cm未満のお子様は
必ず後ろ向きで使用



肩・腰ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。

補足

肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。



お子様の降ろし方

お子様を降ろしやすい位置に回転させます。(P15・P16参照)

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。(P19参照)

バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。(P18参照) お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

本装置の取り外し方

1

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックが解除されます。ロックが解除されるとインジケータが緑色から赤色に変わります。

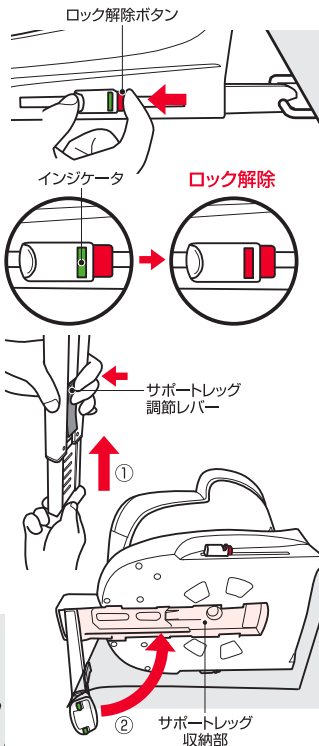
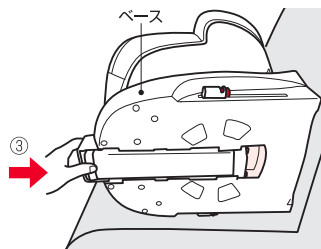
補足 ロックを解除する際は、ロック解除ボタンを左右同時に押ししてください。

ロックが解除されたら、ISOFIXコネクタを引き戻してベースに収納してください。

2

サポートレッグ調節レバーを押してロックを解除します。

- ①サポートレッグを最も短くします。
- ②本装置を横に寝かせ、サポートレッグ収納部側に倒します。
- ③ベース側に押し込んで収納します。



注意 引き出し・収納する際に、ベースと収納部の隙間に手や指を挟まないように注意してください。

カバー類の取り外し方



1

肩ベルトを緩め(P19参照)、タンクをバックルから解除(P18参照)します。ヘッドサポートを引き上げます。(P20参照)

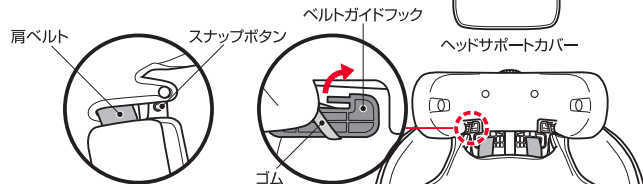
2

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。
※インナークッションの中に入っているウレタンと三角パッドを取り出してください。(P25参照)

バックルパッドを、バックルから引き抜きます。

3

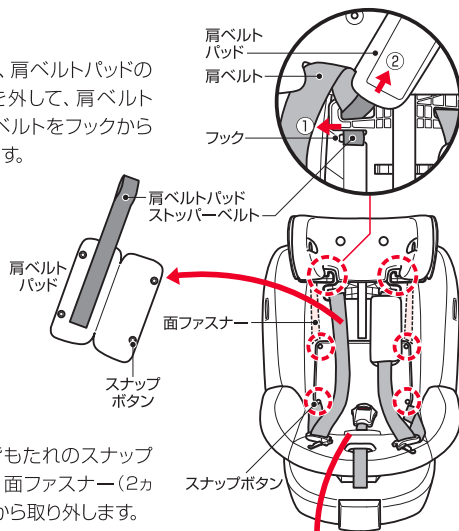
スナップボタンを外して肩ベルトを引き出します。ヘッドサポートカバーを手前に外し、ベルトガイドフックに掛かっているゴムを外して、ヘッドサポートカバーを取り外します。



カバー類の取り外し方

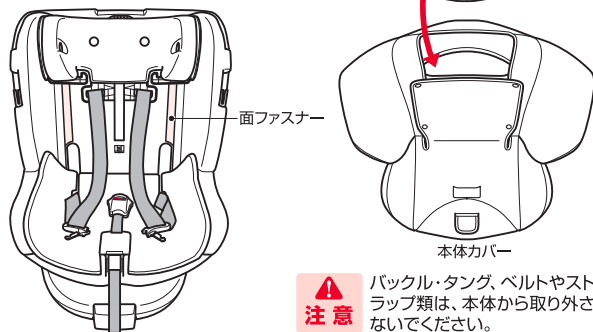
4

肩ベルトパッドは、肩ベルトパッドの
スナップボタンを外して、肩ベルト
パッドストッパーベルトをフックから
外して引き抜きます。



5

本体カバーは、背もたれのスナップ
ボタン(4カ所)と、面ファスナー(2カ
所)を外して本体から取り外します。



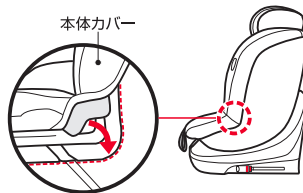
注意 バックル・タング、ベルトやス
トラップ類は、本体から取り外さ
ないでください。

カバー類の取り付け方

1

肩ベルトを緩め(P19参照)、ヘッドサ
ポートを引き上げます。(P20参照)

本体カバーを取り付けて、バックル
と肩ベルト調節ストラップを表側に
引き出し、面ファスナー(2カ所)と背
もたれのスナップボタン(4カ所)で
固定します。

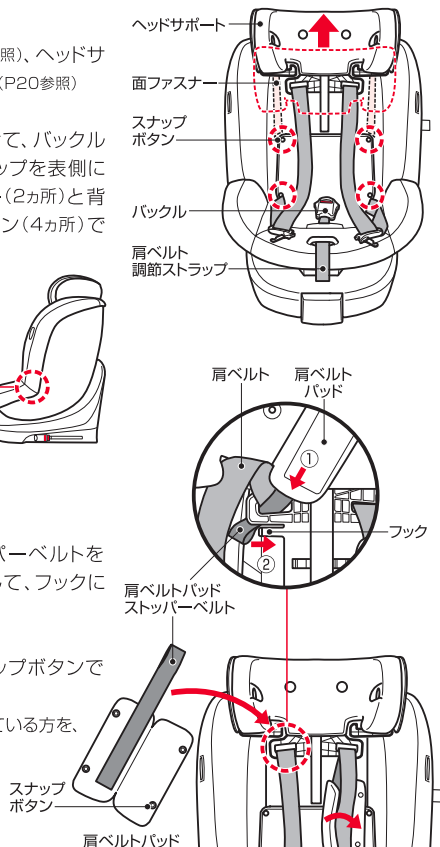


2

肩ベルトパッドストッパーベルトを
肩ベルトの内側に通して、フックに
掛けます。

肩ベルトパッドのスナップボタンで
肩ベルトに固定します。

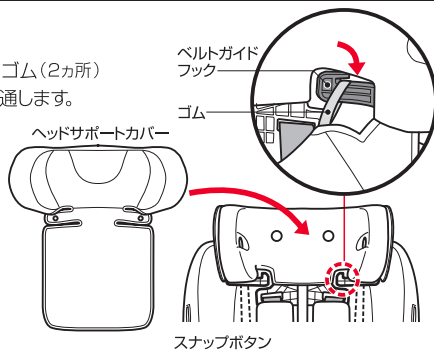
※スナップボタンが付いている方を、
外側にしてください。



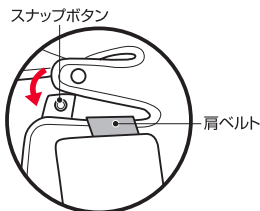
カバー類の取り付け方

3

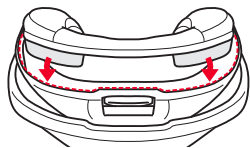
ヘッドサポートカバーのゴム(2カ所)を、ベルトガイドフックに通します。



肩ベルトをヘッドサポートカバーの前に引き出して、スナップボタンを留めます。

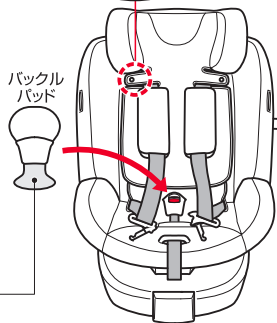


ヘッドサポートカバーの背面部を差し込んでから、カバーを押し込んでください。



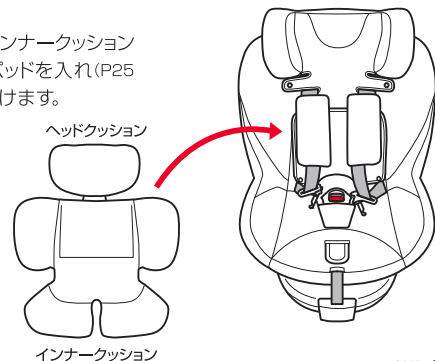
バックルパッドをバックルに取り付けます。

※バックルパッドの下部は、本体カバーの中に押し込んでください。



4

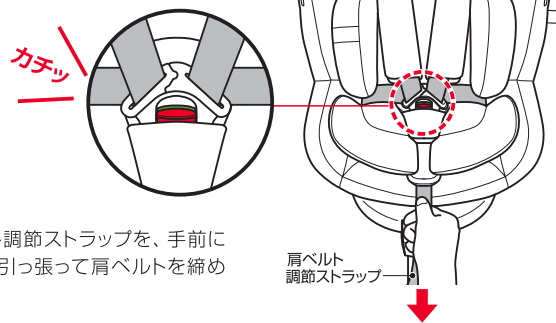
ヘッドクッションとインナークッションにウレタンと三角パッドを入れ(P25参照)、本体に取り付けます。



5

ヘッドサポートを引き下げます。(P20参照)

タンクとバックルをセットします。(P18参照)

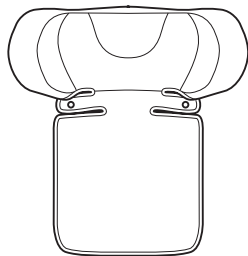


肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締めます。

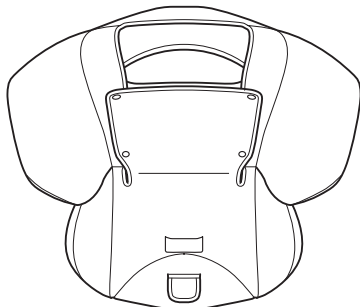
お手入れ

カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い手洗いしてください。
- 洗濯機(手洗いモード)で洗う場合は、必ず洗濯ネットを使用してください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 脱水機・衣類乾燥機、アイロンは使用しないでください。



ヘッドサポートカバー

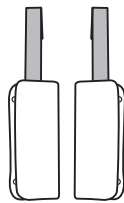


本体カバー

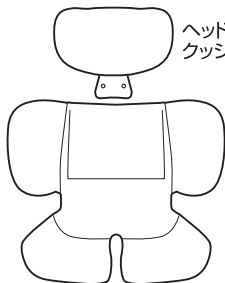
ヘッドクッション



バックルパッド



肩ベルトパッド

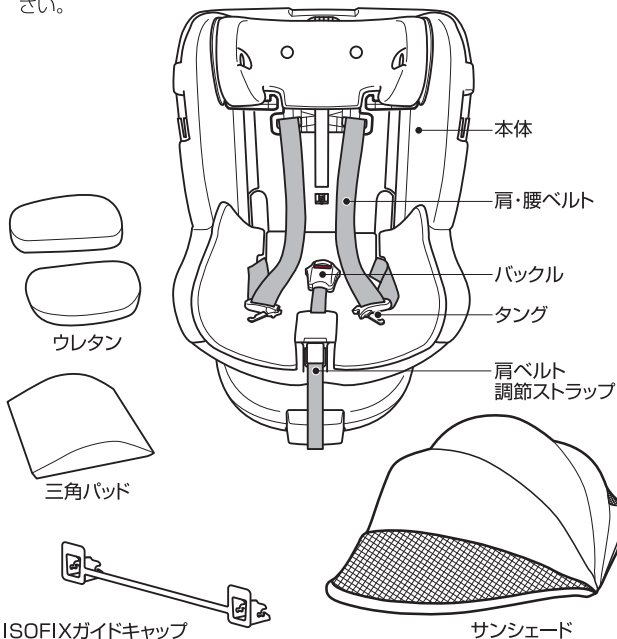


インナークッション



本体・ベルト等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意 バックル・タング、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。



困ったときは

弊社HP「よくあるご質問 Q&A (QRコード→)」をご覧ください。

●チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

- 本体を前後に軽く揺すり、本装置が前後に動かないこと(※左右に動く場合は、使用上問題ありません)、ISOFIXのインジケータが緑色になっていることを確認してください。
- 車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前に起こすことで、しっかり固定できる場合があります。

●肩ベルトがねじれて、タングが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

●バックルにタングが入らない。

- バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。
- ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタングを数回抜き差ししてください。

●子どもの服が厚いためか、身体が少しきつそう。

- 肩ベルトを緩めて調節をしてください。(P19参照)
- インナークッションを取り外してください。

●肩ベルトがきつい。

- インナークッションを取り外してください。
- 肩ベルトの位置がお子様の肩より下がっていませんか？
ヘッドサポートの高さを確認してください。(P20参照)



解決しない場合は「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。

●肩ベルトパッドやインナークッションを新たに購入したい。

- 弊社ホームページからご購入いただけます。または、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

●サポートレグが引き出せない。

- サポートレグの底部を、本体側に押さえ付けると引き出すことができます。押さえ付けなければ引き出せません。

●運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認しただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできるのより安全です。

●ISOFIXを取り付けたら、座面の前が浮いているけど大丈夫？

- 座面と車両の座席の隙間に手のひらが入る程度であれば問題ありません。それ以上であれば、背もたれを起こして再度取り付け直してください。お子様を乗せて、座面が座席に接地していることをご確認ください。

●ISOFIXがうまく差し込むことができない。

- ISOFIXコネクタを、目一杯引き出してから差し込んでください。

●廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくとも決して使用しないでください。

保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
- ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
 - ご使用にともなう傷やぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
 - 有償修理時に要する発送費。
 - 保証書およびレシート、または販売証明書のご提示がない場合。
 - 部品の紛失。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
- ④ 原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後において、ご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては、修理をいたしかねる場合があります。
 ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
 ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店名がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製 品 名	ターンレジェネクスト/ミッキーマウス		
お買い上げ年月日	年	月	日
保 証 期 間	お買い上げ日より年間		
お 客 様	お名前		
	ご住所	TEL () -	
販 売 店	店 名		
	住 所	TEL () -	
故障内容記入欄			

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に転用することは一切ございません。
- 本書は発行しませんので、大切に保管してください。
- 品番変更のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。